



平成21年 4月 3日
内 閣 府
政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)

ITS 実証実験モデル都市の選定結果について

内閣府事務局

現在、政府においては、ITS を活用して環境にやさしい交通社会の実現等のため、ITS を利用して都市交通問題に取り組んでいる都市を「ITS 実証実験モデル都市」として選定し、平成24年度末までに先導的な技術、施策と既存施策を融合するとともに、さまざまな実験を行い、その効果を検証するとともに、ITS の利用の先進事例とすることを目指しています。

今般、社会還元加速プロジェクト「情報通信技術を用いた安全で効率的な道路交通システムの実現（プロジェクトリーダー：奥村直樹 総合科学技術会議有識者議員）」のタスクフォースにおいて、平成21年3月24日付けで、ITS 実証実験モデル都市として、下記の3都市を選定しました。

青森市、横浜市、豊田市

(問い合わせ先)

内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当) 付

参事官(社会基盤・ frontier 分野担当) 付 南部、奥井

TEL 03-5253-2111 (内 44621、44584)

03-3581-9261 (直通)

FAX 03-3581-9969

ITS 実証実験モデル都市の選定について

1. これまでの経緯

ITS 実証実験モデル都市の選定は、長期目標である運輸部門における二酸化炭素排出量の半減等を実現させるために、社会還元加速プロジェクト「情報通信技術を用いた安全で効率的な道路交通システムの実現」のロードマップ（平成 20 年 5 月 19 日総合科学技術会議本会議報告）に位置づけられた取組である。

ITS を利用して都市交通問題に取り組んでいる都市へのアンケート調査やホームページによる情報提供依頼により、ITS 実証実験モデル都市に立候補する都市を募り、関係省庁と ITS Japan により、下記の 3 つの基準に基づき評価を実施した。

- ① 二酸化炭素排出量の大幅な削減
地域の実情を踏まえた目標設定となっており、その目標達成に向けた実証実験に値する新たな技術の導入がなされるとともに、複数の施策が盛り込まれていること。
- ② 実現可能性
目標の達成に必要な実験計画が適当であり、その作成に当たっては、過去の類似実験を参考にしていること。また、実験計画を確実かつ円滑に実施するための推進体制や実施環境が整っていること。
- ③ モデル性
地理的、規模的な特徴を有しており、同じ特徴を有する地域への展開が見込まれることや、実証実験にて実施される施策が模範となって、他地域への展開が見込まれること。また、展開に必要な関連団体を介しての連携が取れていること。

これを受けて、平成 21 年 3 月 24 日（金）に開催された社会還元加速プロジェクト「情報通信技術を用いた安全で効率的な道路交通システムの実現」のタスクフォースにおいて審議を行い、3 つの基準への対応を総合的に勘案し、3 都市を「ITS 実証実験モデル都市」として選定した。

2. 今後の進め方 ～ ITS 実証実験モデル都市への支援 ～

現在、国が行う支援措置として、①統一的な効果評価手法の提示など自治体の実験計画策定や実験評価への支援、②シンポジウム等を通じた実験に関わる情報発信に関する支援、③自治体や関係機関への所管行政分野に対するアドバイスをを行うこととしている。これらに加え、関係省庁が来年度に向けて支援策の検討ができるように、ITS 実証実験モデル都市からのヒアリングをタスクフォースにて実施する。

なお、今後、ITS 実証実験モデル都市による計画の具体化と並行して、各都市の取組みとロードマップとの対応を勘案し、必要に応じてモデル都市の追加検討を行う。

一方、モデル路線の選定についても引き続きタスクフォースにおいて検討する。